

(3) 2009年6月22日 月曜日

アパレル専門のシステム・判断した。

コンサルティング会社であるペンタゴンが、中堅アパレル企業の次世代基幹システムとして期待を寄せているのが、SaaS型統合ERPのネットスイートだ。

同社は、主に売上高30億円から50億円の中堅規模のアパレル企業を対象に、多くのシステム導入案件を手掛けてきている。その経験から、ネットスイートの持つ機能やSaaSとしての仕組みが中規模アパレル企業に適していると

判断した。「ネットスイートなら大規模ERP並みの機能を中堅アパレル企業でも利用することができるようになる」(富田さより社長)と考え、販売代理店として業界へのネットスイートの普及にひと肌脱ぐこととなった。

いる。その当時は、セールスフォース・ドットコムがSaaS型CRMとして市場に大きなインパクトを与えていた時期で「SaaSにもっとも選ばれる。この市場動向を背景に考えれば、間違えではなかったかもしれない。しかし富田社長は「ネットスイートの強みはERPにある。生産管理など他のSaaSソリューションには無い機能を備えているのだから、そこを前面に押し出し、差別化を図るべきでは」と指摘している。



ネットスイート普及へ

中小アパレルにERPを

ペンタゴン

現在では、ひと通り日本語化が完了し、販売体制が整ってきているが、統合ERPとして導入するには、CRMと異なり、それなりの準備が必要となるため、業種テンプレートや、他の業種特化型SaaSと連携させて足りない部分を補ったパッケージ製品の登場が待たれるところだ。

また、富田社長によると、ネットスイートにはパートナー管理やプロジェクト管理など、SaaSの特性を活かした連携性に優れた機能が搭載

されており、自社でも外部パートナーとのプロジェクト管理に共用システムとして利用しているという。「プログラマーを抱えていなくても、これまでERPを運用できてしまうのがネットスイートの最大の魅力」だという。

今後、SaaSが企業の基幹システムに活用されていくためには、ペンタゴンのようなSaaSに特化したノウハウを持つITコンサルティング企業の登場が必要となるだろう。